



建交労



2020年7月20日
 建交労神奈川県南支部
 2020年夏季闘争No.3
 2019年度推進ニュース③通算182号
 発行責任者 佐藤 章

建交労関東トラック協議会16回総会 川崎市教育文化会館で22名が参加し開催

建交労関東トラック協議会第16回定期総会は、新型コロナウイルス感染が再拡大する7月19日13時30分から神奈川県川崎市の教育文化会館で開催しました。総会には栃木県2名、群馬県1名、埼玉県5名、東京都5名、神奈川県は以下8名（神奈川県南支部佐藤委員長、清野副委員長、大島書記長、金崎書記次長、須田執行委員、勝井執行委員、内外液輸分会・三浦書記長、合同分会・赤羽）の5都県21名と中央本部の鈴木書記次長が参加しました。



総会で主催者挨拶をする奥貫議長



司会進行役を務める栃木の石井幹事

総会の司会進行は栃木の石井幹事によっておこなわれ、主催あいさつを行った奥貫議長（埼玉県）は、新型コロナウイルスの感染リスクを抱えながらも国民の生活・日本経済を支える業務に従事するトラック運転手が「ウイルス感染に関わって謂れのない誹謗・中傷を受けている理不尽な状況」などにも触れながら、トラック労働者の状態改善とトラック産業の経営環改善の動きなどを紹介し各県トラック部会と関東トラック協議会の奮闘を呼びかけました。つづいて来賓として挨拶を行った鈴木中央本部書記次長（全国トラック部会事務局長）は、国交省・厚労省・業界団体・労働団体などによるトラック産業の環境改善に向けた協議について報告し、運転業務に関わる改善告示の改訂に向けた動きは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて遅れ気味であることやトラック経営団

体からの逆風なども強まって



来賓挨拶する中央の鈴木書記次長

おり予断を許さない状況にあることを強調し建交労トラック部会の運動を前進させることの大切さを訴えました。

その後、世永事務局長（東京都）が昨年総会以降の活動経過を報告すると同時に新年度の課題・活動方針を提案しました。活動報告では今年3月以降の取り組みが新型コロナウイルス拡大の影響を受けて自粛せざるを得ない状況に置かれ運動に反映している状況が明らかにされました。



総会議案を提案する世永事務局長

各都県トラック部会代表が討論に参加 議案を採択し上村新副議長が閉会挨拶！

世永事務局長の議案提案につづいて中島副議長（東京）による会計報告と金崎会計監査（神奈川県南支部書記次長）の監査報告がおこなわれ、さらに中島副議長が新年度予算案を提案した後、最後に桜井幹事（群馬県）から次期役員体制の提案がおこなわれて全体討論に入りました。

討論では各都県のトラック部会代表から発言があり、組織や運動の現状、たたかひの決意などが語られました。神奈川からは赤羽組合員が神奈川トラック部会の組織建設と三昭運輸分会の争議について発言し支援を訴えました。

討論後は提案されたすべての議案と役員体制が全員の拍手



記念品を受け取る中島前副議長・上村新副議長が閉会挨拶をおこなって16回閉会挨拶をする上村新副議長・下

で採択されたあと奥貫議長から中島前副議長の退任にあたって長年の功績を称えて感謝の意が表明され中島前副議長に記念品を贈呈しました。中島前副議長は退任あいさつのなかで関東トラック協議会でのエピソードなどともに今後の協議会に対する期待などが語られました。

総会の締め括りは新副議長に選出された上村副議長（東京）



監査報告する金崎監査委員・上新役員提案をする桜井幹事・中島前副議長退任挨拶をする中島前副議長・下

第2部は三昭運輸分会の清野分会長が講演

第2部の学習会は神奈川県南支部の大島書記長（右の写真）が進行し、講師は神奈川県南支部三昭運輸分会の清野分会長が務めました（下の写真）。学習会では、係争中の三昭運輸分会争議の経緯と到達点などについて



清野氏の三昭運輸入社や建交労の分会結成に至る流れなどを含めて詳細に報告されました。とりわけ悪質社労士が関わる争議に勝利することの社会的意義や影響の大きさを強調し、



県労委で早期勝利命令を獲得し一気に全面解決に持ち込む決意を表明し支援を訴えて学習会を終えました。